

# QuarkXPress® 8

## Xperience Design



## Quark Job Jackets による印刷機のエラーの防止

100ページの予算が組まれたドキュメントが112ページの長さで出力用に送信されると、お客様の予測を上回るコストがかかることとなります。レイアウトに依頼先の印刷業者で正確に再現できない可能性のあるカラーや取り込まれた画像が使用されていると、ジョブが送り返されて作業はやり直しとなり、高額な費用負担が発生します。カラーマネージメント設定を誤ると、デザイナーの意図した色が印刷されず、お客様から発注が来なくなる結果になりかねません。

伝達不足、あいまいな仕様、つまらないミスがあると、プリプレスの段階で調整が必要になり、プロジェクトの予算超過や期日に間に合わないといった状況が発生しやすくなります。大きなジョブになればなるほど、このようなミスによるコストも増大します。「プリフライト」ソフトウェアを使用すれば、デザイナーや出力業者は、高品質印刷にありがちなコストがかかるミスを回避できます。プリフライトツールは完成したレイアウトをレビューするには非常に優れたツールですが、印刷できないレイアウトや不適切な構成のレイアウトが最初から作成されないようにすることはできません。

Quark® Job Jackets®は、プリフライトを超える革新的な機能であり、印刷ジョブが作成されて印刷機にかけられるまで、仕様からの逸脱がないようにします。また、スタイルシートやカラーからページサイズやページ数までのすべてを含めて、同期された、動的に更新可能なデザインにプロジェクトをリンクすることで、これまで個々のユーザーレベルで考えられていたジョブ仕様の順守という概念を拡大しました。このため仕様に変更が生じて、ワークグループでは関連するプロジェクト間での一貫性を確保できます。

# 正確な印刷ジョブの定義

印刷機関連の問題を回避する最初の手順は、提案された印刷ジョブの仕様をジョブジャケットファイルに記録することです。ジョブジャケットとは、印刷ジョブの詳細な説明が含まれるように設計されたXMLファイルで、下記内容が含まれています。

- ページサイズやページ数などのレイアウトの仕様。
- 画像カラスペースと解像度、トラップ設定、およびPDF/X準拠などの出力仕様。
- レイアウトに許可されるカラスペース、フォントサイズ、ボックスのバックグラウンドなどを決定するルール。
- カラー定義やカラーマネージメント設定などその他のリソース。

印刷ジョブを要求する担当者とジョブの印刷を担当する出力業者は、使い慣れたQuarkXPress®ユーザーインターフェイスを使用して、ジョブジャケットファイルを提供できます。完成したジョブジャケットは、2つの方法で使用できます。

- レイアウト作成者がジョブジャケットファイルから新しいプロジェクトを作成した場合、プロジェクトには指定されたガイドラインに従ったレイアウトが自動的に含まれます。
- ジョブジャケットファイルを使用したレイアウトで作業しながら、レイアウト作成者は定期的にレイアウトの自動検査を実行して、ジョブの定義に準拠していることを確認します。

以下のセクションでは、これら両方のシナリオについてさらに詳細に検討します。

## 自動レイアウト構成

従来のワークフローでは、印刷ジョブの仕様は、紙の書類、またはテキストベースの電子的なフォーマットで作成されます。レイアウト作成者がジョブを開始する場合は、ページサイズ、使用するカラー、ページ数などの仕様を読んで、これらの仕様に合わせてレイアウトを手動で設定する必要があります。仕様があいまいな場合、レイアウト作成者が解釈を誤って、最初から「崩れた」レイアウトになってしまいます（たとえば、間違ったページサイズでレイアウトが設計されると、画像の配置やテキストリフローの調整の修正などで、時間のかかる作業が発生することになります）。

レイアウト作成者がジョブジャケットファイルから新しいレイアウトを作成すると、レイアウトには正しいページサイズ、マージン、ページ数、カラー、カラーマネージメント設定、さらにスタイルシートなどが自動的に取得されます。つまり、最初から正確に定義されたとおりのレイアウトを構成できます。仕様はジョブジャケットフォーマットで作成されるため、あいまいさが生じる余地はありません。仕様が自動的に読み込まれて、実装されるため、解釈を誤る余地もありません。言うまでもなく、レイアウト作成者による手動の構成が必要なレイアウトに比べて、自動構成のレイアウトははるかに短時間で作成できます。また、プロジェクトの担当者が変わっても、ジョブの説明の詳細がジョブジャケットファイルに維持されるため、中心的な人物が担当を離れたことでプロジェクトが混乱する危険性も軽減されます。

# 自動レイアウト検査

レイアウトを正しく設定しただけでは、まだ手順の半分を終えたに過ぎません。レイアウトはページレイアウトプロセスの最後まで引き続き仕様に従っている必要があります。このため、ジョブジャケット機能には、以下の機能を提供するレイアウト検査エンジンが含まれています。

- レイアウトを検査して、ページ数、使用するスポットカラー、画像ファイルフォーマットと解像度、カラーマネージメント設定、PDF/X準拠、およびその他の出力設定に関して、ジョブの要件を逸脱していないかを確認します。
- カスタムルールを使用してレイアウトを検査して、ボックスのバックグラウンド、ラインの太さ、フォント使用状況、トラップ設定などについて、レイアウトがジョブの定義者による仕様に従っているかを確認します。

レイアウト検査担当者が発見した問題が画面に表示されるため、レイアウト担当者は簡単に問題を発見して修正できます。

## カスタマイズ可能なガイダンス

ジョブジャケットは、特定の目的に応じて細かく構成できます。たとえば、出力業者は特定の印刷機での印刷に必要なカラーマネージメントと出力仕様のみが含まれたジョブジャケットファイルをお客様に納品して、お客様側で印刷できないようなジョブが作成されないようにすることもできます。定期的な印刷ジョブがある企業では、ジョブジャケットを使用すると、実際の作業担当者が誰かにかかわらず、ジョブが完了するたびに仕様に準拠しているかを確認できます。プロジェクトとジョブジャケットファイルとのリンクも簡単に作成できるため、QuarkXPressユーザーはすぐに利点を活用できます。

## 常に全員が同じページを共有

レイアウト作成者のグループが関連するプロジェクトを使用している場合、カラーやスタイルシートなどのリソースが「同期解除」されやすいため、完成時にスタイルの不一致が生じます。ジョブジャケット機能は、レイアウト作成者がリソースの最終版が保存されている場所で単一のジョブジャケットファイルを共有できるようにすることで、この問題に対処しています。これにより、プロジェクト担当者は関連するプロジェクト間で一貫性を維持できるのみでなく、マスター定義を更新するだけでこれらのプロジェクトを動的に更新できます。仕様に最新の変更が必要な場合も、1箇所変更するだけで済みます。変更が加えられると、新しい仕様は同じQuark Job Jacketsを共有するすべてのプロジェクトに自動的に適用され、プロジェクトのレイアウトの検査ルールに自動的に組み込まれます。

# JDF標準の活用

ジョブジャケットは、CIP4® (the International Cooperation for the Integration of Processes in Prepress, Press and Postpress Organization) により作成されたオープンスタンダードであるJDF (Job Definition Format) に基づいています。CIP3のPrint Production Format (PPF) と Adobe® SystemsのPortable Job Ticket Format (PJTF) が取り組む概念に基づいて構築されたJDFは、印刷ジョブに関する情報保存の標準フォーマットを提供し、多数の印刷関連プロセスの自動化を促進するために作成されています。

JDFファイルにはスキャン、印刷、製本、裁断、配布までの情報を含めることができ、JMF (Job Messaging Format) を介したJDF対応自動「MIS」システムでプロセスを開始できます。JDFは、Adobe、Agfa®、EFI®、Heidelberg®、Hewlett-Packard®、Eastman Kodak®、Xerox® など、多数のベンダーと組織にサポートされています。詳細な一覧については、CIP4のウェブサイトwww.cip4.orgの「JDF Marketplace」セクションを参照してください。

Quark Job Jackets機能は、JDFフォーマットを基礎構造として使用しているため、製本仕様や連絡先情報などのJDF情報をQuarkXPressプロジェクト用のジョブチケットに追加できます。QuarkXPressレイアウトを出力に送信する場合、JDFファイルを書き出して、JDF固有情報をプロセスの次の段階に伝達できます。

## まとめ

ジョブジャケットを使用すると、レイアウトの構成方法を最初から印刷機に送られるまで制御して、プロジェクト、クライアント、または全社レベルでそのレイアウトを維持できます。このため、デザイナーにとっても出力担当者にとっても時間の節約になり、高額な費用負担が発生するエラーを回避して、標準ベースの完全デジタルワークフローに一歩近づくこととなります。

### North America

Quark Inc.  
1800 Grant Street  
Denver, CO 80203  
www.quark.com  
+1.800.676.4575  
+1.303.894.8888

### Europe

Quark Media House Sàrl  
Rue Du Monruz 2  
2000 Neuchâtel  
Switzerland  
euro.quark.com  
00800 1787 8275  
+41 (32) 720 1414

### Asia

Quark India Pvt Ltd.  
A 45 Industrial Area  
Phase VIII B Mohali 160059  
Punjab, India  
www.quarkindia.com  
+91.172.2299.131

### Japan

Quark Japan K.K.  
West 248 bldg.  
2-4-8 Ebisu-nishi  
Shibuya-ku, Tokyo  
150-0021 Japan  
japan.quark.com  
+81-3-3476-9440

